

明石の たからもの

この 味



「この味」「この場所」「こんなまち」の3つのジャンルで27のたからものをピックアップ!
あなたが一番だと思うたからものに投票してください。

応募方法は、16面をご覧ください▶

明石には美味しいものがたくさん。
豊かな海で育まれる海の幸だけではなく、温暖な気候のもと野菜や果物の栽培も盛んです。



2連覇中!

1 明石焼(玉子焼)

ふわふわトロトロの生地の中に、プリプリのタコが入った明石焼（玉子焼）。たこ焼きのルーツともいわれ、100年以上市民に愛される明石の名物。

▶市内には明石焼のお店が70店舗

明石焼を食べられるお店は市内に約70店舗あり、作り方やだしの味などお店ごとにおいしさへのこだわりがあります。

市長メッセージ

あけましておめでとうございます。
昨年は11月に「全国豊かな海づくり大会兵庫大会」が、明石市をメイン会場に開催され、全国に明石の魅力を発信しました。

また、3年ぶりに海開きを行ったほか、市内各地で盛大に秋祭りが開催されるなど、あらためて、明石の良さを感じた一年でした。

今号の特集では、みんなで選ぶ、明石の「たからもの」投票を行います。家族や親戚が集まるこの機会に、まちの良さを話し合っていただき、もっと明石のことを好きになっていたければと思います。

本年もみなさんにとって良い一年になりますように。



明石市長 泉 房徳



4 ノリ

明石の海は潮の流れや栄養分など、ノリの養殖にぴったり。味・香り・色つやの良さが自慢。

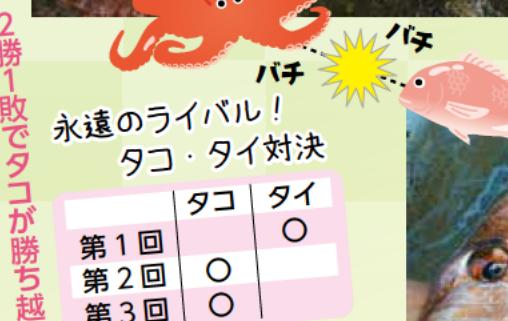
6 アナゴ

焼きアナゴや天ぷら、煮アナゴで楽しめる。300グラム以上の大型アナゴは「伝助アナゴ」と呼ばれています。



8 日本酒

江戸時代から続く明石の伝統産業。現在も6軒の酒蔵が酒造りを行っています。お正月は日本酒で乾杯!



タコと並ぶ明石のブランド、明石鯛。春は姿形が美しい「桜鯛」、秋は脂がのっておいしい「紅葉鯛」と年に2度の旬を楽しめます。

3 タイ(マダイ)

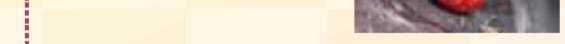


5 イカナゴ

3月上旬ごろにシンコ漁が解禁されることから、「春を告げる魚」として親しまれています。イカナゴのくじ煮は明石の春の味です。

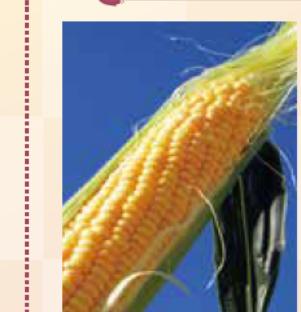
7 清水のいちご

魚住町清水周辺で栽培されるいちごの総称。みずみずしい口当たりと濃厚な甘さ、豊かな香りが特徴。



9 スイートコーン

一株につき一本しか採らない明石のスイートコーンは、見事な粒張りや、鮮やかな色、甘みが特徴。



10 天文科学館

昭和35年に東経135度日本標準時子午線の上にオープン。開館当時から稼働しているプラネタリウムは稼働期間日本一を更新中。



12 あかし市民図書館

明石駅前にあり、充実したサービスが好評。2021年には「ライブリー オブザイヤー Library of the Year 2021 優秀賞&オーディエンス賞」を受賞。



15 ユーススペース AKASHI



梅や桜のほか、ハーブガーデンでは約80種類のハーブを楽しめます。子ども向け遊具があるあそびの丘や、中央体育会館など子どもも大人も楽しめる公園です。

17 石ヶ谷公園

思い出の場所や憩いのスポットなど、皆さんが思う明石といえばこの場所はどこですか?



11 明石城(明石公園)

明石駅を降りてすぐそこ。自然豊かな公園が広がり、世代を超えて多くの市民に親しまれています。今も残る「坤櫓」と「巽櫓」は国の重要文化財にも選ばれています。



13 ハレハレ

子どもも大人も一緒になって楽しめる親子交流スペース。屋内なので雨の日も思いっきり遊べるのも魅力。2022年6月に利用者数が50万人を突破。



14 あかし版こども食堂

子どもたちが歩いて行けるように、全28小学校区で実施。通いやすく地域の人ともすぐに顔見知りになり、遊びや学習を通じた交流の場にもなっています。



地元では「うおんたな」の愛称で呼ばれ、新鮮な魚介類や練り物、乾物などのお店を中心に約100店舗が並ぶ。市内外から多くの人が訪れる明石の名所のひとつ。

16 魚の棚商店街



ウミガメが産卵に訪れたこともある「林崎・松江海岸」や、道路沿いにヤシの木が立ち並ぶ「江井島海岸」、ビーチスポーツで有名な「大蔵海岸」など、明石の海岸は魅力いっぱいです。

18 魅力いっぱい 明石の海岸